

SYLLABUS (英語コミュニケーションⅠ)

単位数	3	履修学年	1 年	履修学科	普通科
使用教科書		MY WAY English Communication I New Edition (三省堂)			
学習の目標	日常的な会話や社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて支援を活用し必要な情報を読み取り、論理性に注意して文章を書いて伝える能力を身に付ける。		授業の概要	各課の本文の内容や文法事項を理解する。また、音声や句読法など実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。	
学 習 計 画					
	項目及び内容		到達目標及び学習のポイント		
1 学期	Lesson 1 ～Lesson 3		○さまざまなフォントが与える印象や役割について学び、学校の食堂のメニューに使うフォントを選びその効果を発表する。 ○ビーバーの生態やビーバーが作るダムが環境に与える効果について学び、絶滅の危機に瀕した動物の特徴や生息地、減少の要因などを発表する。 ○植物由来のものから作られた代替食品の人気の高まる現状について学び、学校の食堂メニューに加えた代替食品を使った料理について発表する。		
2 学期	Lesson 4 ～Lesson 7		○「クマのプーさん」に込められた、心温まるメッセージについて学び、留学生に紹介したい日本の物語について発表する。 ○消滅に危機にある世界の言語について学び、英語以外に学びたい言語について発表する。 ○パリの地下鉄で演奏しているミュージシャンについて学ぶ。文化祭で披露してみたいパフォーマンスについて発表する。 ○三代達也さんの世界旅行の経験と、そこで気づいたことについて学び、旅行者に勧める日本の都市について発表する。		
3 学期	Lesson 8 ～Lesson10		○古代から現代までの「鍵」の進化について学び、最も便利だと思う「鍵」について発表する。 ○作家角野栄子さんの作品と想像力の関係について学び、卒業後の暮らし方について発表する。 ○SDGs に関連するさまざまな課題とプレゼンテーションについて学び、テーマを選んでグループで発表する。		
評価	観 点	評価の観点の趣旨		評価項目	
	知識・技能	英語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。		・出席状況 ・定期考査の成績	
	思考・判断・表現	情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり伝えあったりできる。		・授業中の諸活動 ペアワーク、グループワーク、発表など	
	主体的に学習に取り組む態度	英語に関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。		・提出物の内容	
学習アドバイス	○授業の取組 集中して授業に取り組み、繰り返し読んだり書いたり練習することで、日常的な表現を身に付け、英語でのコミュニケーション能力を高めましょう。 ○家庭学習（予習・復習） 本文の新出単語や重要表現を辞書で確認してから授業に臨みましょう。また、学習内容を定着させるため、声に出して本文を読んだり、重要表現を含む基本文を繰り返し書いたりして毎日復習をしましょう。				

SYLLABUS (英語コミュニケーションⅠ)

単位数	3	履修学年	1 年	履修学科	工業科
使用教科書		All Aboard! English Communication I Revised (東京書籍)			
学習の目標	日常的な会話や社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて支援を活用し必要な情報を汲み取り、論理性に注意して文章を書いて伝える能力を身に付ける。		授業の概要	各課の本文の内容や文法事項を理解する。また、音声や句読法など実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。	
学 習 計 画					
	項目及び内容		到達目標及び学習のポイント		
1 学期	Warm-Up 1, 2, 3 Pre-Lesson 1 ～Lesson 4 文法のまとめ 1		○アルファベット、教室で使う英語、辞書の使い方の復習をする。 ○自己紹介、世界のさまざまな朝食、オーストラリア野生動物、愛馬、海外の観光地に関する文章を読み、知識を深める。 ○基本的な文構造、時制（現在形・過去形）、進行形、助動詞、to 不定詞の用法を理解し、伝えたいことを書いたり話したりしながら表現する。		
2 学期	Lesson 5 ～Lesson 8 文法のまとめ 2、文法のまとめ 3		○ある工業高校のユニークな取り組み、江戸時代の浮世絵師（歌川国芳）、アンネ・フランクの生涯、ロボットカフェの紹介のそれぞれについて読み取る。 ○動名詞、受け身、比較表現、現在完了形の用法について学ぶ。		
3 学期	Lesson 9、10 Reading 1、2		○地域の環境問題に対する取り組みについて学ぶ。 ○名詞を後ろから修飾する分詞について学ぶ。 ○沖縄と沖縄出身の日系アメリカ人の交流について読み取る。 ○関係代名詞 who, which の用法を理解する。 ○ショートストーリー、江戸時代を舞台にした怪談を読み、情景や登場人物の心情などを読み取る。		
評価	観 点	評価の観点の趣旨			評価項目
	知識・技能	英語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。			・出席状況 ・定期考査の成績 ・授業中の諸活動 ペアワーク、グループワーク、発表など ・提出物の内容
	思考・判断・表現	情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり伝えあったりできる。			
	主体的に学習に取り組む態度	英語に関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。			
学習アドバイス	○授業の取組 集中して授業に取り組み、繰り返し読んだり書いたり練習することで、日常的な表現を身に付け、英語でのコミュニケーション能力を高めましょう。 ○家庭学習（予習・復習） 本文の新出単語や重要表現を辞書で確認してから授業に臨みましょう。また、学習内容を定着させるため、声に出して本文を読んだり、基本文を繰り返し書いたりして毎日復習をしましょう。				

SYLLABUS (英語コミュニケーションⅡ)

単位数	2	履修学年	2 年	履修学科	普通科 I 型
使用教科書		All Aboard! English CommunicationⅡ（東京書籍）			
学習の目標	日常的な会話や社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて支援を活用し必要な情報を読み取り、論理性に注意して文章を書いて伝える能力を身に付ける。		授業の概要	各課の本文の内容や文法事項を理解する。また、音声や句読法など実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。	
学 習 計 画					
	項目及び内容		到達目標及び学習のポイント		
1 学期	Pre-Lesson 1 ～Lesson 2 Let' s listen① Word Box①		○英語学習、外国の生活や文化に関する文章を読み、知識を深める。 ○関係代名詞、比較の用法を理解し、伝えたいことを書いたり話したりして表現する。 ○日常会話を聞き、その状況を把握する ○感情を表す単語について学習する。		
2 学期	Communication 1 Lesson 3 ～Lesson 4 文法のまとめ① Let' s listen② Word Box②		○日常生活で使う英語を使って、ペアワークを行う。 ○ワイルドマンの世界を理解する。 ○it の用法、関節疑問文について理解する。 ○it の用法や間接疑問文の用法を理解する。 ○世界自然遺産の紹介文を聞き取る。 ○日常でよく使う単語について学習する。		
3 学期	Lesson 5 Word Box③ Reading 1 文法のまとめ②		○歌舞伎メイクについて学ぶ。 ○to 不定詞を含む表現について理解する。 ○身近な単語について学習する。 ○精読を通して、登場人物の心情を読み取る。 ○演習を通して、既習内容を復習する。		
評価	観 点		評価の観点の趣旨		評価項目
	知識・技能	英語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。		・出席状況 ・定期考査の成績	
	思考・判断・表現	情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり伝えあったりできる。		・授業中の諸活動 ペアワーク グループワーク	
	主体的に学習に取り組む態度	英語に関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。		発表 など ・提出物の内容	
学習アドバイス	○授業の取組 集中して授業に取り組み、繰り返し読んだり書いたり練習することで、日常的な表現を身に付け、英語でのコミュニケーション能力を高めましょう。 ○家庭学習（予習・復習） 本文の新出単語や重要表現を辞書で確認してから授業に臨みましょう。また、学習内容を定着させるため、声に出して本文を読んだり、重要表現を含む基本文を繰り返し書いたりして毎日復習をしましょう。				

SYLLABUS (英語コミュニケーションⅡ)

単位数	4	履修学年	2 年	履修学科	普通科Ⅱ型
使用教科書		MY WAY English Communication Ⅱ（三省堂）			
学習の目標	日常的な会話や社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて支援を活用し必要な情報を読み取り、論理性に注意して文章を書いて伝える能力を身に付ける。		授業の概要	各課の本文の内容や文法事項を理解する。また、音声や句読法など実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。	
学 習 計 画					
	項目及び内容		到達目標及び学習のポイント		
1 学期	Lesson 1 ～Lesson 3		○各国のダンスの起源を学ぶ過程で、その国の歴史や文化を知る。 ○桂三輝さんの落語に対する姿勢や、彼の学びから、我々の生き方を考える。 ○野生動物保護問題を身近に考える。		
2 学期	Lesson 4 ～Lesson 7		○本文のあらすじを正確に理解する。 ○知覚動詞・使役動詞、関係代名詞、助動詞、分詞構文の発展的な用法を理解し、伝えたいことを書いたり話したりして表現する。		
3 学期	Lesson 8 ～Lesson10		○ホセ・ムヒカさんの演説を通して、自分にとっての「幸せ」を考え、それを達成するために自らが取り組める行動について具体的に考える。 ○e-sports についての発表活動を通して内容の進化を図るとともに、プレゼンテーションのスキルを身に付ける。		
評価	観 点	評価の観点の趣旨		評価項目	
	知識・技能	英語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。		・出席状況 ・定期考査の成績	
	思考・判断・表現	情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり伝えあったりできる。		・授業中の諸活動 ペアワーク グループワーク 発表 など	
価	主体的に学習に取り組む態度	英語に関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。		・提出物の内容	
	学習アドバイス	○授業の取組 集中して授業に取り組み、繰り返し読んだり書いたり練習することで、日常的な表現を身に付け、英語でのコミュニケーション能力を高めましょう。 ○家庭学習（予習・復習） 本文の新出単語や重要表現を辞書で確認してから授業に臨みましょう。また、学習内容を定着させるため、声に出して本文を読んだり、基本文を繰り返し書いたりして毎日復習をしましょう。単語帳を有効に活用し、語彙力を増やしましょう。			

SYLLABUS (英語コミュニケーションⅡ)

単位数	2	履修学年	2 年	履修学科	工業科
使用教科書		All Aboard! English CommunicationⅡ（東京書籍）			
学習の目標	日常的な会話や社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて支援を活用し必要な情報を読み取り、論理性に注意して文章を書いて伝える能力を身に付ける。		授業の概要	各課の本文の内容や文法事項を理解する。また、音声や句読法など実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。	
学 習 計 画					
	項目及び内容		到達目標及び学習のポイント		
1 学期	Pre-Lesson 1 ～Lesson 2 Let' s listen① Word Box①		○英語学習、外国の生活や文化に関する文章を読み、知識を深める。 ○関係代名詞、比較の用法を理解し、伝えたいことを書いたり話したりして表現する。 ○日常会話を聞き、その状況を把握する。 ○感情を表す単語について学習する。		
2 学期	Communication 1 Lesson 3 ～Lesson 4 文法のまとめ① Let' s listen② Word Box②		○日常生活で使う英語を使って、ペアワークを行う。 ○ワイルドマンの世界を理解する。 ○it の用法、関係疑問文について理解する。 ○it の用法や間接疑問文の用法を理解する。 ○世界自然遺産の紹介文を聞き取る。 ○日常でよく使う単語について学習する。		
3 学期	Lesson 5 Word Box③ Reading 1 文法のまとめ②		○歌舞伎メイクについて学ぶ。 ○to 不定詞を含む表現について理解する。 ○身近な単語について学習する。 ○精読を通して、登場人物の心情を読み取る。 ○演習を通して、既習内容を復習する。		
評価	観 点	評価の観点の趣旨			評価項目
	知識・技能	英語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。			・出席状況 ・定期考査の成績 ・授業中の諸活動 ペアワーク グループワーク 発表 など ・提出物の内容
	思考・判断・表現	情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり伝えあったりできる。			
主体的に学習に取り組む態度	英語に関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。				
学習アドバイス	○授業の取組 集中して授業に取り組み、繰り返し読んだり書いたり練習することで、日常的な表現を身に付け、英語でのコミュニケーション能力を高めましょう。 ○家庭学習（予習・復習） 本文の新出単語や重要表現を辞書で確認してから授業に臨みましょう。また、学習内容を定着させるため、声に出して本文を読んだり、重要表現を含む基本文を繰り返し書いたりして毎日復習をしましょう。				

SYLLABUS (英語コミュニケーションⅡ)

単位数	2	履修学年	3 年	履修学科	普通科 I 型
使用教科書		All Aboard! English CommunicationⅡ（東京書籍）			
学習の目標	日常的な会話や社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて支援を活用し必要な情報を読み取り、論理性に注意して文章を書いて伝える能力を身に付ける。		授業の概要	各課の本文の内容や文法事項を理解する。また、音声や句読法など実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。	
学 習 計 画					
	項目及び内容		到達目標及び学習のポイント		
1 学期	Lesson 6 ～Lesson 8		○伝統野菜について学ぶ。 動詞の目的語になる if 節を学習する。 ○アートによる世界のつながりを学ぶ。 関係副詞 I を理解する。		
2 学期	Lesson 9 ～Lesson10 Reading 2		○自然のデザインについて学ぶ。 知覚動詞を理解する。 ○甘いチョコレートの苦い現実を学ぶ。 使役動詞を理解する。 ○ナイチンゲールについて知る。 分詞構文を理解する。 ○対話形式の物語を読み、話の展開方法などを理解する。		
3 学期	Word Box 5		○単語の意味や使い方を理解し、日常生活を英語で表現する。		
評価	観 点	評価の観点の趣旨			評価項目
	知識・技能	英語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。			・出席状況 ・定期考査の成績 ・授業中の諸活動 ペアワーク、グループワーク、発表など ・提出物の内容
	思考・判断・表現	情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり伝えあったりできる。			
	主体的に学習に取り組む態度	英語に関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。			
学習アドバイス	○授業の取組 集中して授業に取り組み、繰り返し読んだり書いたり練習することで、日常的な表現を身に付け、英語でのコミュニケーション能力を高めましょう。 ○家庭学習（予習・復習） 本文の新出単語や重要表現を辞書等で確認してから授業に臨みましょう。また、学習内容を定着させるため、声に出して本文を読んだり、重要表現を含む基本文を繰り返し書いて毎日復習をしましょう。				

SYLLABUS (英語コミュニケーションⅢ)

単位数	4	履修学年	3 年	履修学科	普通科Ⅱ型
使用教科書		MY WAY English Communication Ⅲ（三省堂）			
学習の目標	日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を読んだり聞いたり、考えや情報を論理的に話して伝えたり、書いて伝えるなど、統合的な言語運用能力を身に付ける。		授業の概要	各課の本文の必要な情報を読み取り、論理の展開や要点を把握しながら内容を理解し、自分の考えなどを表現する。また、文法事項など実際のコミュニケーションにおいて必要な技能を身に付ける。	
学 習 計 画					
	項目及び内容		到達目標及び学習のポイント		
1 学期	Strategy for Listening & Reading 1～8 Lesson 1～Lesson 3 Writing skills①		○様々な話題について情報を聞き取り、論理の展開を把握する。 ○異文化理解、食(SDGs)、科学、についての記事等読んで理解を深め、考えや意見を述べる。 ○英語でのメールの書き方を学び、メール文を作成する。		
2 学期	Lesson 4～Lesson 9 Speaking skills②		○伝統文化、言語・歴史、異文化、環境(SDGs)、日常生活、犬税などに関する記事やプレゼンテーションを通して、理解を深め、考えや意見を他と共有する。 ○英語によるプレゼンテーションの技量を学ぶ。		
3 学期	Lesson10		○引き続き犬税について考える。宇宙開発の必要性について、自分の立場を表明し、考えや意見を述べる。		
評価	観 点	評価の観点の趣旨			評価項目
	知識・技能	英語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。			・出席状況 ・定期考査の成績 ・授業中の諸活動 ペアワーク、グループワーク、発表など ・提出物の内容
	思考・判断・表現	情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり伝えあったりできる。			
	主体的に学習に取り組む態度	英語に関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。			
学習アドバイス	○授業の取組 集中して授業に取り組み、繰り返し読んだり書いたり練習することで、日常的な表現を身に付け、英語でのコミュニケーション能力を高めましょう。 ○家庭学習（予習・復習） 本文の新出単語や重要表現を辞書等で確認してから授業に臨みましょう。また、学習内容を定着させるため、声に出して本文を読んだり、重要表現を含む基本文を繰り返し書いたりして毎日復習をしましょう。				

SYLLABUS (英語コミュニケーションⅡ)

単位数	2	履修学年	3 年	履修学科	工業科
使用教科書		All Aboard! English CommunicationⅡ（東京書籍）			
学習の目標	日常的な会話や社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて支援を活用し必要な情報を読み取り、論理性に注意して文章を書いて伝える能力を身に付ける。		授業の概要	各課の本文の内容や文法事項を理解する。また、音声や句読法など実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。	
学 習 計 画					
	項目及び内容		到達目標及び学習のポイント		
1 学期	Lesson 6 ～Lesson 8		○伝統野菜について学ぶ。 動詞の目的語になる if 節を学習する。 ○アートによる世界のつながりを学ぶ。 関係副詞 I を理解する。		
2 学期	Lesson 9 ～Lesson10 Reading 2		○自然のデザインについて学ぶ。 知覚動詞を理解する。 ○甘いチョコレートの苦い現実を学ぶ。 使役動詞を理解する。 ○ナイチンゲールについて知る。 分詞構文を理解する。 ○対話形式の物語を読み、話の展開方法などを理解する。		
3 学期	Word Box 5		○単語の意味や使い方を理解し、日常生活を英語で表現する。		
評価	観 点	評価の観点の趣旨		評価項目	
	知識・技能	英語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。		・出席状況 ・定期考査の成績 ・授業中の諸活動 ペアワーク、グループワーク、発表など ・提出物の内容	
	思考・判断・表現	情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり伝えあったりできる。			
	主体的に学習に取り組む態度	英語に関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。			
学習アドバイス	○授業の取組 集中して授業に取り組み、繰り返し読んだり書いたり練習することで、日常的な表現を身に付け、英語でのコミュニケーション能力を高めましょう。 ○家庭学習（予習・復習） 本文の新出単語や重要表現を辞書等で確認してから授業に臨みましょう。また、学習内容を定着させるため、声に出して本文を読んだり、重要表現を含む基本文を繰り返し書いたりして毎日復習をしましょう。				

SYLLABUS (論理・表現Ⅰ)

単位数	2	履修学年	1 年	履修学科	普通科
使用教科書		BIG DIPPER English Logic and Expression I（数研出版）			
学習の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。事実や意見などを多様な観点から考察し、表現の方法を工夫しながら伝える能力を身に付ける。		授業の概要	基本表現を繰り返し練習し、実用的な英語表現を身に付ける。ALT との活動を通して既習表現をより実践的なものにする。	
学 習 計 画					
	項目及び内容		到達目標及び学習のポイント		
1 学期	Part 1：Lesson1 ～ Lesson14		○肯定文・否定文／疑問文 ○現在・現在進行形／過去・過去進行形／未来表現／現在完了／過去完了／助動詞 ○文 型／受け身／不定詞／動名詞／分詞 ○「My Friends」「Our Teachers」などの身近なことから自分の考えや気持ちを表現する。		
2 学期	Part 1：Lesson15 ～ Lesson21 Part 2：Lesson1 ～ Lesson7		○比較／関係詞／仮定法／接続詞 ○勧誘する／依頼する／確認する／心配する 義務／期待／謝罪 ○「In a Zoo」「A Birthday Gift」から比較や場所を表現する。		
3 学期	Part 2：Lesson8 ～ Lesson15		○be planning to ～ ○so ～ that ... ○What do you want to ～？ ○What's bothering you？ ○Thanks a lot for ～ ○agree with ○How do you feel about ～？ ○勧誘／心配／程度／願望／同情／喜び／意見を表現する		
評価	観 点	評価の観点の趣旨			評価項目
	知識・技能	英語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。			・出席状況 ・定期考査の成績 ・授業中の諸活動 ペアワーク、グループワーク、発表など ・提出物の内容
	思考・判断・表現	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。			
	主体的に学習に取り組む態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。			
学習アドバイス	○授業の取組 基本表現を確認したのち、練習問題や言語活動を通して、日常的事や自分自身のことを英語で表現する力を身に付けましょう。英語によるコミュニケーションを積極的行いましょう。 ○家庭学習（予習・復習） 予習として本文に記載されている基本的な語彙、重要表現を辞書で確認して授業に臨みましょう。また、授業中は板書以外でもメモを取るなど、各自工夫して学習に取り組みましょう。学習内容を定着させるため、習ったことはその日のうちに繰り返し書いたり読んだりして復習しましょう。				

SYLLABUS (論理・表現Ⅱ)

単位数	2	履修学年	2 年	履修学科	普通科Ⅱ型
使用教科書		MY WAY Logic and Expression Ⅱ（三省堂）			
学習の目標	学校や家庭、地域等の場面での会話に効果的な表現を積極的に身に付け、場面や状況に応じて、意欲的に表現できるようにする。また、スピーチ等の発表にも積極的に取り組めるようにする。			授業の概要	各課の対話文で用いられる表現とともに、その中で必要な文法事項や構文等の基礎を理解し、多様な表現を身に付ける。また、その知識や技術を用いて、情報や考え、気持ち等を積極的に伝える活動を行い、相手に自分の気持ちや意見を意欲的に伝える姿勢を身に付ける。
学 習 計 画					
	項目及び内容			到達目標及び学習のポイント	
1 学期	Lesson 1 ～Lesson 4			経験についての会話 現在完了形 1、過去完了形 2 好きな場所を紹介する発表 未来を表す表現 週末の予定についての会話 助動詞 used to、should など 助動詞＋have＋過去分詞、be 動詞＋to 不定詞 印象深い授業についての会話 受動態、不定詞 1 日本の文化についての会話 不定詞 2、知覚動詞、使役動詞	
2 学期	Lesson 5 ～Lesson 9			科学技術についての会話 分詞構文、with＋O＋分詞 大きさなどを身近なものに例える 比較 1、比較 2 火星についての会話 関係代名詞、関係副詞 1、関係副詞 2 旅行に行く友だちとの会話 仮定法 悩み事を伝える会話 否定の表現、代名詞を使った表現	
3 学期	Lesson10～Basic Skills			科学技術についての会話 分詞構文、with＋O＋分詞 大きさなどを身近なものに例える 比較 1、比較 2 火星についての会話 関係代名詞、関係副詞 1、関係副詞 2 旅行に行く友だちとの会話 仮定法 悩み事を伝える会話 否定の表現、代名詞を使った表現	
評価	観 点	評価の観点の趣旨			評価項目
	知識・技能	基本的な文法事項を積極的に身に付け、実際のコミュニケーションに活用できる技能を身に付けている。			・出席状況 ・定期考査の成績 ・授業中の諸活動 ペアワーク、グループワーク、発表、小テスト等 ・提出物の内容
	思考・判断・表現	伝える内容を整理し、英語で書いたり話したりして、要点や意図などを明確にしながら、情報や考えを適切に表現することができる。			
主体的に学習に取り組む態度	身の周りのことを英語で表現することに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。				
学習アドバイス	○授業の取組 各レッスン、パートともに、モデル文（"Conversation"，"passage"）の内容や文法事項・重要表現を意識しながら、"Useful Expressions"と"Grammar for Speaking and Writing"を確認し表現を身に付けましょう。 ○家庭学習（予習・復習） モデル文（"Conversation"，"passage"）と、"Grammar for Speaking and Writing"をノートに書き写し、授業でポイントを書き込む準備をしましょう。また、"Exercise"を前もって解いて授業に臨み、正しい表現を身に付けましょう。自分に関する英作をしましょう。 週 1 回の小テストに全力で臨み、英語力を向上させましょう。				

SYLLABUS (論理・表現Ⅱ)

単位数	2	履修学年	3 年	履修学科	普通科Ⅰ型
使用教科書		BIG DIPPER English Logic and ExpressionⅡ（数研出版）			
学習の目標	「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、「書くこと」の3領域を中心とした基礎的・基本的な知識・技能の習得とともに、聞いたり、読んだりして得た情報や考えなどを、論理的に発信できるような思考力・判断力・表現力を身に付ける。		授業の概要	各 Lesson の本文やその内容を理解し、1 年次に学習した文法事項を復習しながら更に理解を深める。ペアワークやグループ活動、プレゼンテーションを通して、相手の考えを尊重しながら、自分の考えを平易な英語で表現する力を身に付ける。	
学 習 計 画					
	項目及び内容		到達目標及び学習のポイント		
1 学期	PART 1 Lesson 1 ～Lesson 7		学校生活 旅行の予定 友だち 思い出 日本食 ボランティア 演劇	現在形・進行形の表現を身に付ける 未来の表現を身に付ける 現在完了の表現を身に付ける 過去の状態や習慣、推量を表現する 受動態の様々な表現を身に付ける 使役の表現を身に付ける 不定詞の表現に慣れる	
2 学期	Lesson 8 ～Lesson16		音楽 趣味 愛用品 地理 職業 自分の町 宇宙 S F 忘れ物	動名詞の表現を身に付ける 分詞に慣れる 比較の表現に慣れる 最上級の表現を身に付ける 関係代名詞の表現を身に付ける 関係副詞の表現に慣れる 仮定法過去の表現に慣れる 仮定法のいろいろな表現に慣れる 名詞節が目的語となる表現に慣れる	
3 学期	PART 2 ①、PART 2 ②		制服や授業等、学校生活について幅広く表現する 余暇や自分自身について幅広く表現する 英語で、好き嫌いや希望・欲求、賛成・反対等について表現する		
評価	観 点	評価の観点の趣旨			評価項目
	知識・技能	自分の意見や主張を伝えるために必要となる論理の構成や展開及び表現等を理解している。			・出席状況
	思考・判断・表現	自分の意見や主張を、論理の構成や展開を工夫して複数の段落を用いて詳しく書いて伝えている。			・定期考査の成績
	主体的に学習に取り組む態度	自分の意見や主張を、論理の構成や展開を工夫して、複数の段落を用いて詳しく書いて伝えようとしている。			・授業中の取組 ペアワーク グループワーク プレゼンテーション ・提出物の状況
学習アドバイス	○授業の取組 授業に対して真剣な態度で取り組み、学習内容を反復し練習することで、自分の考えを平易な英語で表現できるようにする。 ○家庭学習（予習・復習） 本文中の新出単語や表現を辞書を用いて確認し授業に臨むようにする。重要表現を中心に毎日復習するようにする。				

SYLLABUS (論理・表現Ⅲ)

単位数	2	履修学年	3 年	履修学科	普通科Ⅱ型
使用教科書		MY WAY Logic and ExpressionⅢ（三省堂）			
学習の目標	日常的な話題について、使用する文や語句、事前の準備などにおいて自分で多様な文や語句を場面、状況に応じて、論理の構成や展開を工夫して複数の段落からなる文章で伝えるようにする。		授業の概要	各課の本文の内容や文法事項を理解する。その知識を用いて情報や考え、気持ちなどを効果的な理由や根拠とともに詳しく書いて伝える。また、発表活動、質疑応答も行う。	
学 習 計 画					
	項目及び内容		到達目標及び学習のポイント		
1 学期	Unit 1 Lesson 1 ～Lesson 5 Special Activity		○動詞の特徴やきまりに関する事項を確認し、それを用いて自分のことについて適切に言ったり書いたりすることができる。 ○不定詞・動名詞、助動詞、分詞を用いて、段階的な手順を踏みながら、自分の提案や考えを効果的な理由や内容とともに詳しく書くことができる。 ○ディスカッションの基礎を学び、簡単なディスカッションを行う。		
2 学期	Unit 1 Lesson 5 ～Lesson10 Special Activity		○分詞構文、比較、関係詞、仮定法を理解し、身近なものごとや社会的なできごとについて複数の文を適切に言ったり書いたりすることができる。 ○名詞・代名詞、前置詞・接続詞を用いて、身近なものごとや社会的なできごとについて複数の文を適切に言ったり書いたりすることができる。 ○ディベートについての基本知識を身に付け、ペアで簡単なディベートを行う。		
3 学期	Unit 2 日常会話を理解して表現しよう		○教科書の題材(チケット購入や、病院での病状の伝え方など)に必要な表現の意味や働きを理解し、多様な語句や文を目的や状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを整理して伝え合う技能を身に付ける。		
評価	観 点		評価の観点の趣旨		評価項目
	知識・技能		慣用表現や文法事項を言語活動と関連付け、実際のコミュニケーションに活用できる技能を身に付けている。		・出席状況 ・定期考査の成績 ・授業中の諸活動 ペアワーク、グループワーク、発表など ・提出物の内容
	思考・判断・表現		伝える内容を整理し、英語で書いたり話したりして、要点や意図などを明確にしながら、情報や考えを適切に表現することができる。		
	主体的に学習に取り組む態度		英語に関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。		
学習アドバイス	○授業の取組 集中して授業に取り組み、Useful Expression を中心とした重要表現を身に付けましょう。それぞれのトピックを英語で表現するための論理的な文章構成をつくる力を身に付けましょう。 ○家庭学習（予習・復習） それぞれのトピックを英語で表現するための英文法はすべて2年次までに学習が終了しているため、復習をしてから授業に臨みましょう。復習としては、自分の身近なことや社会的な出来事についてもう一度文章を書いてみましょう。				